

発議第12号

安房トンネル無料化の継続を求める意見書

標記について、会議規則第14条の規定に基づき提出する。

平成22年12月22日提出

提出者 高山市議会議員 杉 本 健 三

賛成者 高山市議会議員 大 木 稔  
伊 嵩 明 博  
水 門 義 昭  
松 葉 晴 彦  
佐 竹 稔  
車 戸 明 良  
中 箴 博 之  
岩 垣 和 彦  
真 野 栄 治

## 安房トンネル無料化の継続を求める意見書

長野県松本市と岐阜県高山市境にある安房トンネルの無料化実験が、今年7月から実施された。報道などによれば、7月から9月の1日当たりの平均交通量は、実験開始前に比べ平日で約1.93倍の3,500台、休日で約2.0倍の6,000台と報告されている。無料化実験が、地元高山市や長野県側の観光客入り込み数の増加につながっており、地元産業活性化に大いに寄与しているところである。

また、このトンネルは、国道158号のバイパスとなる中部縦貫道の一部となっており、全線開通までは、無料化の継続を望む声が多く出されている。全線開通時には、高速料金となることはやむを得ないとしても、それまでは無料化することによって、十分な波及効果を生むものと思量される。

よって、国におかれては、安房トンネルの無料化を少なくとも中部縦貫道の完成時期まで続けることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月22日

高 山 市 議 会